

あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針に対するパブリックコメントの結果

●意見募集期間 令和5年11月24日から令和5年12月25日まで

●意見を出された方 1名 ●意見数 1件

あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針案に対する意見等とそれに対する市の考え方

番号	意見等の概要	意見等に対する市の考え方	計画の修正内容
1	<p>・(3)③特別支援教育における学校のあり方 文科省の「問題行動・不登校」調査結果と同様に、あま市内の小中学校においても、不登校、不適應の児童生徒が増加傾向にあります。特に不登校のあらたな一人を出さないためにも、不適應の状態での早期対応が必要ですが、対応できる職員には限界があります。また、不登校からの復帰事例からは、児童生徒が、別室等で充電し、教室へ向かう例が見られます。そこで基本方針にある環境整備に加え、職員の拡充について提案します。</p> <p>ひとりで勉強できたり気持ちをクールダウンできる部屋を用意し、”対応する教職員、支援員、相談員を配置する。”としてはどうか。</p>	<p>・あま市の小中学校においても、不登校、不適應の児童生徒は増加傾向にあり、現在不登校、不適應の状態にある児童生徒への支援だけでなく、あらたな一人をださないための支援が必要であると考えています。そのような児童生徒が多様な学びを実現できる環境整備については、部屋、設備及び備品等だけでなく、運用するスタッフを含めての環境整備であると考えます。</p> <p>ご指摘のとおり、現状のまま部屋だけ用意しても対応できる職員には限界があると考えています。</p> <p>何人のスタッフを用意するのか等の具体的運用方法については、この基本的方針にのっとり、具体的な方策を実施するにあたってご意見を聴取するあま市小中学校あり方課題別検討委員会にてご意見を頂く予定をしています。</p>	—